

人のうごき

(令和6年11月中の掲載希望届出分)

ごっこん

廣瀬 諒さん	左近 楓さん	南5の5
荒田 雅人さん	赤井 美香さん	南町
行町 圭太さん	猪苧 真唯さん	南5の5

おくやみ

杉野 夕子さん	102歳	栄町
南部 フミさん	85歳	緑町
有澤 貢さん	73歳	北4の4
大屋 友子さん	71歳	幸町
渡邊 征吾さん	85歳	南町
遠田 幸道さん	97歳	南大通5
高橋 豊さん	72歳	寿町

人口と世帯数(11月末)

人口	5,972人	(-2)
男	2,895人	(-4)
女	3,077人	(+2)
世帯数	3,334世帯	(-1)

()は前月比

戸籍の届出について

戸籍の届出は休日にも対応しています。休日にお越しの際には連絡事項等がございますので、事前に町民課総合受付係までお電話ください。(☎ 68-7003)

羽幌町の情報をSNSで発信中!

町ではまちの魅力やイベント情報などをSNSを活用して発信しています。ぜひ、ご覧ください。

町ホームページ
「活用ソーシャルメディア一覧」→
はこちら



Dr. 佐々尾の健康カルテ

今年もいよいよあとわずかです。年末年始に離れた親戚が帰省される家庭もあり、久しぶりに会って話をできるタイミングです。そんな時に話してほしいことは「人生の最終段階をどうするか」です。先日羽幌町で講演の機会をいただき、その中で「人生の最終段階をどうするか話し合っておきましょう」と触れました。そのことが書かれた新聞記事をお読みになった方から、「夫婦でもお互いに避けてなかなか話をしにくいんだけど、どうなんだろう?」と。たしかに、あまり良い話ではないですね。「なんでもいんですよ。話しにくければ、『人生で最後に食べたいものは?』みたいな話がきっかけでもいいですよ。」とお答えしました。

「人生の最終段階を考えて話し合うこと」を「アドバンスケアプランニング(ACP)」と言いますが、わかりにくいので「人生会議」と呼ぶように5年ほど前になりました。人生の最終段階では、自分で意思決定ができなくなる可能性があり、事前に意向を誰かに伝えておく方が、より自分の望む形で最期を迎えられることに繋がります。また、いざという時に家族に判断が委ねられると、家族にとっても心理的な負担が大きくなりますので、家族がいらっしゃれば、ぜひ伝えておいた方が良いでしょう。

では、具体的にどのように人生会議を進めればよいのでしょうか。まずは、自分自身で考えてみます。「良い人生とは?」「介護が必要になった時どこで過ごしたいか・最期をどこで迎えたいか」「病名や予後など告知を希望するか」「延命治療を希望するか」などです。最近はエンディングノートが書店で売られていたり、インターネットでもダウンロードできるので、その形式に沿って考えて書き出しても良いでしょう。わからないことがあれば、主治医に聞いてみても構いません。そして、家族や自分の大事な人と共有しておくことで良いでしょう。反対をされることもあるかもしれませんが、お互いに意見を出しながら、最終的な判断は本人の意思を尊重してほしいと思います。一番大事なことは、一度決めたことが結論ではなく、何度も繰り返して話をすることです。人生のことですから悩んで当然で、一旦決めたから覆してはいけないということはありません。そうして繰り返して話をすることで、暗く避けたい話でも気軽に話をしていけることにもつながるかもしれません。

人生の最終段階は避けて通ることができません。向き合うことで自分の人生をより深く見つめ直し、また大切な人々と共有することでその関係をさらに強めることができます。この年末年始は、「人生最後に食べたいもの」でも良いので話してみましよう。

(北海道立羽幌病院 副院長 佐々尾 航 医師)

各種証明の発行、マイナンバーカードの作成には本人確認書類が必要です

- 書類1点で確認可能なもの(顔写真付きのもの)
免許証、マイナンバーカード、パスポート、在留カード、身体障害者手帳など
- 書類2点で確認が必要なもの
健康保険証、医療受給者証、年金手帳、年金証書、学生証など
※ 学生証は顔写真付きのものでも書類2点での本人確認が必要です
※ 印鑑証明書を代理人の方が請求する場合も代理人の方の本人確認が必要です

☞ お問い合わせ 町民課総合受付係 ☎ 68-7003

